

平成19年度 田島こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|---|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 田島こども文化センターの管理運営に関すること 渡田小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|---|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | 利用者の視点から、地域性を大事にし取り組んできた。館内には意見箱を設置、運営協議会、こども会議、及び懇談会等での意見集約は新たなニーズを発見した。又、運営協議会、地域教育会議等での情報交換や近隣の行政機関との連携によりニーズの把握等に努めることができた。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | 利用者のニーズを捉えながら、館内環境整備に於いての改善と乳幼児ルームの室内完備が充実できた。支援関係機関（健康福祉局・社会福祉協議会）との連携強化では、親子が気軽に集い、活動できる場を提供することができた。「老人いこいの家」と交流行事を実施することができた。 | 運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、支援関係機関との連携により行事を実施し、サービスを提供していた。 |

| | | |
|--------------------|---|---|
| 事業の実施に関する こと | 事業計画に基づき、運営協議会と連携を取り、正門壁画制作を実施した。又、夜間行事としてハロウィンパーティを行い、50人の参加を得た。 | 運営協議会との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。 |
| 個人情報の取扱いに関する こと | 入館表や参加者名簿等、個人を特定できるものの取り扱いに十分な注意を払った。入館表や参加者名簿等個人情報の取り扱いについて提示時、利用者に周知し理解を得る。取り扱い注意の紙資料については施錠保管とした。 | 個人情報の取扱いについては、概ね問題なく処理されている。 |
| 施設の安全管理に関する こと | 毎日、朝の安全点検を実施。館内に於ける危険箇所の点検・修正に取り組むことが出来た。又、館内での過ごし方等についても、危険な遊びや、遊具の使い方を間違えないよう個々への声掛けを徹底した。こども110番の取り組みや学校、地域の連携の強化を行う。館内「ルール」の設定・指導を行う。シルバー人材派遣活用により、随時館内外清掃・点検作業を行う。 | 毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、渡田小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。 |
| (2) 利用状況 | | |
| ①こども文化センター | 延べ利用者数 20,258人 延べ団体利用数 1,698団体 プラバン ハロウィンパーティー (特色のある行事) ピタゴラ装置 | 地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |
| ②わくわくプラザ | 1 渡田小学校わくわくプラザ 登録者数 207人 延べ利用者数 14,273人 プラバン 七夕の飾り付け (特色のある行事) びっくり箱作り | 行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|-------------|-------|------------|----|-----|------------|--|-----|-----------|--|------|-----------|--|-------|-----------|--|-------------|---------|--|--------------|--------|--|-------------|---------|--|----|------------|--|----|-------------|---|
| (3) 収支状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 収支状況 | <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>33,972,890</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>30,353,642</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,970,451</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,291,898</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>37,637,978</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>▲ 3,665,088</td> </tr> </table> | 収入 | 指定管理料 | 33,972,890 | 支出 | 人件費 | 30,353,642 | | 管理費 | 2,970,451 | | 事務経費 | 1,291,898 | | その他経費 | 1,436,042 | | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | 合計 | 37,637,978 | | 差引 | ▲ 3,665,088 | <p>臨時職員賃金の増等により単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p> |
| 収入 | 指定管理料 | 33,972,890 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支出 | 人件費 | 30,353,642 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理費 | 2,970,451 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務経費 | 1,291,898 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他経費 | 1,436,042 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 37,637,978 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 差引 | ▲ 3,665,088 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。